

ウメ (果樹類、落葉果樹類、小粒核果類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
かいよう病		1. 病枝は切り取り処分する。 2. 防風林、防風垣を設ける。	開花期から5月下旬までは多発しやすい。風雨直後の防除を重点的に行う。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。 △希釈倍数等使用方法を誤ると、葉の退緑斑、果皮の退緑化等薬害を生じるので注意。
	開花期以降～5月下旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 アグリマイシン-100(水)● 1000倍 アタッキン水和剤● 800～1000倍 Zボルドー(水) 500倍 マイコシールド(水)●△ 1500倍	
灰色かび病		・地上に落下した発病果は集めて処分する。	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
	2月下旬～3月下旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤● 1000～1500倍 ポリベリン水和剤 1000倍 ロブラール水和剤● 1000～1500倍	
黒星病	発芽前	・病枝は切り取り処分する。	春先から温暖で雨の多い年に発生しやすい。小向、豊後、白加賀、玉英などはかかりやすく、小梅品種、梅郷南高などは比較的にかかりにくい。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。 *小粒核果類での登録。
	4～5月	・次の薬剤のいずれかを散布する。 オーソサイド水和剤80* 800～1000倍 サニパー(水) 600～800倍 スコア顆粒水和剤● 2000～3000倍 ストロビードライフロアブル● 2000～3000倍 ゲッター水和剤● 1000倍 ビスダイセン水和剤 800倍 ベルクート水和剤 2000倍 ポリベリン水和剤 1000倍 マネージDF● 4000倍	
環紋葉枯病	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 ストロビードライフロアブル 2000倍 トップジンM水和剤* 1500倍 ベルクート水和剤 2000倍 ロブラール水和剤 1000～1500倍	多雨年に多発する。 *小粒核果類での登録。
すす斑病	4月上旬～5月上旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 ストロビードライフロアブル 2000～3000倍 ベルクート水和剤 2000倍	

ウメ (果樹類、落葉果樹類、小粒核果類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
アブラムシ類	4月上旬～5月中旬 (落花直後の散布が効果的である)	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオン乳剤 3000倍 アドマイヤー顆粒水和剤 10000倍 ウララDF 2000～4000倍 オリオン水和剤40 1000倍 スミチオン乳剤 1000～2000倍 ダイアジノン水和剤34* 1000～1500倍 バリアード顆粒水和剤 2000～4000倍 モスピラン顆粒水溶剤 2000～6000倍 	<p>モモアカアブラムシ、スモモオマルアブラムシは葉を縮れさせる。</p> <p>オカボノアブラムシは新梢に、モモコフキアブラムシは葉裏に寄生してすす病を誘発する。</p> <p>*小粒核果類での登録</p>
カイガラムシ類	12月(休眠期)	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤を散布する。 スプレーオイル#1 30～50倍 	<p>#1スプレーオイルは芽の活動する以前(12月)に散布する。</p> <p>#2幼虫での登録。</p> <p>タマカタカイガラムシは越冬幼虫を削り取るか、5月中下旬に発生する若齢時に薬剤防除する。</p>
	5月中旬～6月中旬 ・9月上旬	<ul style="list-style-type: none"> 幼虫発生期に次の薬剤のいずれかを散布する。 マラソン乳剤 1000～2000倍 アプロードフロアブル#2 1000倍 	
オビカレハ (ウメケムシ)	1月 (剪定時)	<ol style="list-style-type: none"> 卵は小枝に指輪状にうみつけれられるので剪定の時に除く。 分散前の幼虫を巣ごと処分する。 	<p>薬剤防除は幼虫の群生している初期に行う。</p>
	4月上旬 (幼虫初期) 5月上旬 (分散期)	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤を散布する。 マブリックEW 4000倍 	
アメリカシロヒトリ		<ol style="list-style-type: none"> 若齢幼虫期には、巣網をつくって集団でいるので枝ごと処分する。 幼虫発生期に次の薬剤のいずれかを散布する。 スミチオン乳剤 1000倍 ダイアジノン水和剤34* 1000～1500倍 	<p>幼虫は5月下旬～6月下旬と8月中旬～9月中旬の年2回発生する。</p> <p>巣網を離れて活動を始めると薬剤も効きにくくなる。低木の根元などで蛹になる。</p> <p>*小粒核果類での登録。</p>
ハダニ類		<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤を散布する。 カネマイトフロアブル 1000倍 	
その他の病害虫		ウメスカシクロバ	